

令和8年3月19日(木)

令和7年度第2回東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会

資料 5

# 東京都がん検診精度管理評価事業

## (1)実施状況

東京都保健医療局保健政策部  
健康推進課成人保健担当

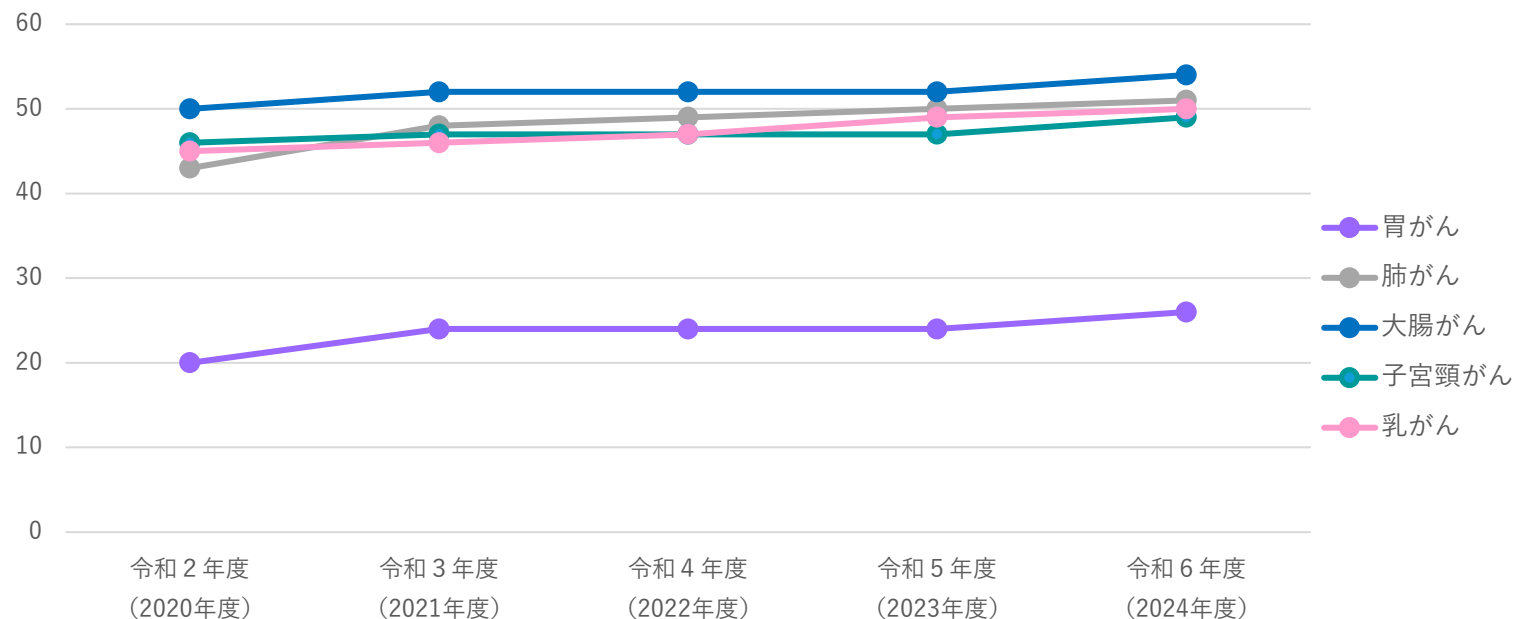
## 1 昨年度までの状況

### 指針の遵守状況

中間アウトカム指標	現行値 (令和6年度)	目標値	完全遵守の定義
全ての区市町村で科学的根拠に基づく検診の実施	15自治体 (完全遵守)	全区市町村	がん検診において「がん種」「検査方法」「対象年齢」「受診間隔」について全て指針どおりであり、指針に定められていない検診が実施されていないこと。

	完全遵守自治体数
令和2年度	9
令和3年度	13
令和4年度	13
令和5年度	14
令和6年度	15

指針を遵守している自治体数の推移



## がん種ごとの遵守状況

胃がん検診においてABC検査あるいはヘリコバクターピロリ抗体検査を実施、及び前立腺がん検診を実施している自治体が一定数ある

がん種	完全遵守	指針外	検査方法		対象年齢		受診間隔	
全がん種	15	47	-	-	-	-	-	-
胃	26	36	22	・ABC検査 ・ヘリコバクターピロリ抗体検査単独	エックス線	11	エックス線	0
					内視鏡	6	内視鏡	5
肺	51	11	3	・低線量CT検査		7		0
大腸	54	8	0			8		0
子宮頸	49	13	7	・HPV検査併用 ・超音波検査		0		8
乳	50	12	9	・超音波検査 ・視触診単独		4		3
前立腺	-	30						
喉頭	-	5						
口腔	-	6						

## 2 令和7年度の実施状況

### 指針の遵守状況

**完全遵守は2自治体増加、** そのほか胃がんと子宮頸がんで改善あり  
(青梅市、奥多摩町)

	完全遵守自治体数
令和2年度	9
令和3年度	13
令和4年度	13
令和5年度	14
令和6年度	15
令和7年度	17

がん種	完全遵守	指針外	検査方法		対象年齢		受診間隔	
胃	28	34	22	・ABC検査 ・ヘリコバクターピロリ抗体検査単独	エックス線	9	エックス線	0
					内視鏡	7	内視鏡	5
肺	51	11	3	・低線量CT検査		7		0
大腸	54	8				8		0
子宮頸	51	11	6	・HPV検査併用 ・超音波検査		0		6
乳	50	12	9	・超音波検査 ・視触診単独		4		3
前立腺	-	31						
喉頭	-	5						
口腔	-	5						

※指針外の「検査方法」「対象年齢」「受診間隔」は重複あり

## 改善のあった自治体

※ 変更によって指針遵守となった自治体のみ記載

### 胃がん

自治体名	検査方法	変更前	変更後 (= 指針遵守)
青梅市	胃部エックス線検査	対象年齢 (35歳以上)	対象年齢 (40歳以上)
奥多摩町	胃部エックス線検査	対象年齢 (35歳以上)	対象年齢 (40歳以上)

### 子宮頸がん

自治体名	変更前	変更後 (= 指針遵守)
調布市	HPV検査併用 (自己採取)	廃止
利島村	受診間隔 (毎年)	受診間隔 (2年に1回)

## 3 今後の取組の方向性

引き続き科学的根拠に基づく検診の重要性を啓発するとともに、改善がみられた自治体の取組事例等を情報提供

### がん部会通知

指針の遵守状況を評価し、**指針外検診を実施している自治体に対し、改善意見を通知**  
年度当初に開催する区市町村がん検診事業担当者連絡会において、事業の概要・意義を説明の上で順次発出

### 区市町村訪問・がん検診事業担当者連絡会

実施体制や精度管理に課題のある自治体への個別訪問による技術的助言・指導や、好事例の共有や担当者間での意見交換を目的としたグループワークの開催  
**指針外検診の是正を担当者連絡会のテーマ**にすることを検討

## 4 がん部会通知

### 通知文

別紙

東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会意見

1 科学的根拠に基づくがん検診の実施

がん死亡率減少効果と不利益の対比の観点から、国の指針で推奨されたがん検診手法を東京都でも推奨しています。

東京都においては、都内自治体の皆様の御協力の下、指針外検診が減少傾向にあります。指針外検診を実施している自治体につきましては、指針に沿ったがん検診の適切な実施をお願いします。

【貴自治体で実施している指針外の検査項目及び対象者】

がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	理由	がん部会からの意見
胃	胃部X線(35~39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。

「がん種」「検査方法」「対象年齢」「受診間隔」の観点から改善意見を記載

【貴自治体で実施している指針外の検査項目及び対象者】

がんの種類	指針外の検査項目及び対象者等	理由	がん部会からの意見
胃	胃部X線(35~39歳)	指針外の対象者への検診に該当するため	検診対象者の見直しを御検討ください。

【重要】がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針の一部改正(令和8年4月1日付適用)における肺がん検診の実施について

令和7年12月24日付で「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が一部改正となり、肺がん検診における重喫煙者への喀痰細胞診は削除されました。

令和8年度に各自治体において実施する肺がん検診について、喀痰細胞診を実施した場合は、指針外検診として令和9年度に発出予定のがん部会通知(令和8年度がん検診の実施状況)ではがん部会からの意見を記載予定です。

令和8年4月1日以降の指針に沿ったがん検診は、下記URLを御覧ください。

厚生労働省ホームページ「がん検診>1. がん検診の種類」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000059490.html>

《科学的根拠に基づくがん検診に関する参考資料》

(1) 各がん検診の推奨される方法とその根拠【参考資料1】

①:「有効根拠に基づく胃癌検診ガイドライン」2014年度版「胃癌がん検診の推奨グレード」

### ・肺がん指針改正のお知らせ

令和8年4月1日から重喫煙者への喀痰細胞診が削除されたことを周知し、令和8年度も重喫煙者へ喀痰細胞診を実施した場合は、令和9年度発出予定のがん部会通知にて指針外検診として意見を通知することを予告

### ・科学的根拠に基づくがん検診に関する参考資料

指針外検診見直しの参考資料となるようガイドライン等を案内

# 東京都がん検診精度管理評価事業(1)実施状況(7/8)

## 助言内容

がん種	がんの種類	がんの種類及び対象者等	理由	がん部会からの意見
	その他	前立腺がん関連検査	指針外のがん検診の種類に該当するため	死亡率減少効果の有無を判断する証拠が現状では不十分であるため、対策型検診として実施することは推奨されておりません。利益と不利益のバランスを踏まえた上で、今後の実施の見直しを御検討ください。
検査方法	グレードI			
	がんの種類	がんの種類及び対象者等	理由	がん部会からの意見
	胃	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査	指針外の検査方法に該当するため	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。
	グレードC			
がんの種類	がんの種類及び対象者等	理由	がん部会からの意見	
子宮頸	細胞診・HPV検査併用法	指針外の検査方法に該当するため	細胞診検査及びHPV検査単独法と比較し、偽陽性が増加するという不利益が大きいため、国の指針に記載されていません。検診方法の変更を御検討ください。	
対象年齢	がん部会からの意見			間受診
	検診対象者の見直しを御検討ください。			
			がん部会からの意見	受診間隔の見直しを御検討ください。

## 肺がんの指針外検診への意見

がんの種類 及び対象者等	がん部会からの意見
喀痰細胞診（高危険群以外）	検診対象者の見直しを御検討ください。

がんの種類 及び対象者等	がん部会からの意見
胸部CT（低線量）	死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。検診方法の変更を御検討ください。

がんの種類 及び対象者等	がん部会からの意見
喀痰細胞診（重喫煙者以外）	令和7年度時点で、 <b>貴自治体の喀痰細胞診検査は対象者の見直しの必要性がありました。</b> 令和8年4月1日から重喫煙者への喀痰細胞診は指針外の検査項目となったため、 <b>実施の見直し</b> を御検討ください

がんの種類 及び対象者等	がん部会からの意見
胸部CT（低線量）	重喫煙者以外に対する低線量CT検査は死亡率減少効果を示す証拠が不十分であるため、対策型検診として実施することは勧められません。 <b>重喫煙者への実施については、死亡率減少効果を示す証拠は認められていますが、対策型検診への導入は未定のため、実施の見直しを御検討ください。</b>